

声をかけても反応してくれない利用者さん 「もしかして認知症？」



…いいえ、もしかしたら

「聞こえが悪い」の

かもしれません。

【お話】(福)京都聴覚言語障害者福祉協会 内川 大輔さん

高齢の利用者さんに声をかけても反応がない、最近テレビの音量が前より大きくなっている。普段の支援の中でこのような状況に出くわすと、「もしかして認知症？」と考える支援者も多いでしょう。ですが、それは認知症ではなく、もしかしたら聞こえの問題かもしれません。

実際、このようなケースは意外に多く、コミュニケーションが取れないと思って検査をしてみたら、脳はしっかりしていて、聞こえにだけだったということがあります。その可能性を支援者が知らない、利用者さんとのコミュニケーションがうまくいかない。ゆくゆくは利用者さんの自己決定が奪われてしまうといったことが出てきてしまいます。

もし声をかけても反応がない、そんな兆候があつたら、気軽に私たち「聞こえのプロ」に相談に来てください。

(福)京都聴覚言語障害者福祉協会が運営する「きこえの森診療所」では、言語聴覚士による聴力検査と耳鼻科医による診察ができます。また身体障害者の診断書や補聴器の意見書など、各種の診断書の作成を行っています。聞こえの問題は一生続きますので、「診断書を出して終わり」ではなく、その後も当事者の集まる場所を作り、継続して支援し、その人の生涯に付き合います。

私自身、生まれつき耳が聞こえません。聞こえの一番の問題は、聞こえていないことを認識されないことです。その問題を正確に把握するまでが難しいと言えます。想像力を膨らませて、この世の中には聞こえない人もいるという可能性を排除しないでいただきたいですね。

🗣️「聞こえのプロ」ご存知ですか？

(福)京都聴覚言語障害者福祉協会では、手話や聴覚障害のあるお客様とのコミュニケーション方法について学ぶ「法人・企業研修」や「聞こえのサポーター養成講習会」の実施など、「聞こえのプロ」として、子どもから高齢者まで、聞こえに関するさまざまな悩みに応えています。悩みに直面したらまずご相談ください。

 (福)京都聴覚言語障害者福祉協会

【住所】京都府京都市中京区西ノ京東中合町2
【電話】075-841-8336 【FAX】075-841-8311
【URL】<http://www.kyoto-chogen.or.jp>

講座申込専用ダイヤル
075-275-8021



▲手話講座 (講師・田原里絵さん)



手話通訳者
加藤 佳奈さん

(福)京都聴覚言語障害者福祉協会
内川 大輔さん